

# 遠野

市議会だより | NO.9  
2007.10.31



## まこやが・さんぽ

### 綾織保育園

綾織保育園では、0歳児7名の赤ちゃんから5歳児まで全部で51名の子どもたちが元気に通っています。隣の綾織地区センターに大きなどんぐりのなる木があり、4歳児と5歳児23名が「おおきいどんぐりあった!」

今年もビッグどんぐりをたくさん見つけました。

(高橋好子園長)

### 主な内容 9月定例会

- 平成18年度決算を認定
- 遠野型助産院スタート
- デマンドバス実証試験開始

# 合併初の通年決算を認定



▲今定例会には遠野町婦人団体協議会他 24 名が傍聴に訪れました。

## 9月定例会

平成 19 年第 4 回定例会を 9 月 13 日から 9 月 28 日までの 16 日間開催しました。

今定例会では、提案された平成 18 年度決算関係 10 件、条例等の制定 7 件、平成 19 年度補正予算関係 9 件、人事案件 2 件の全議案を審議し、原案のとおり認定・可決しました。

一般質問には 7 人の議員が登壇し質問しました。

また、最終日には請願 1 件を採択、意見書 1 件を可決しました。

## 議 案

- 平成 18 年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 平成 18 年度遠野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成 18 年度遠野市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成 18 年度遠野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成 18 年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成 18 年度遠野市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成 18 年度遠野市宮守町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成 18 年度遠野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成 18 年度遠野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成 18 年度遠野市水道事業会計決算の認定について
- 遠野市遠野健康福祉の里条例の一部を改正する条例の制定について
- 政治倫理の確立のための遠野市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市情報公開条例及び遠野市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市営バスの運行及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市都市計画事業下一日市地区土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市宮守町戸別浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市土地開発公社の定款の一部を改正する定款の制定について
- 平成 19 年度遠野市一般会計補正予算（第 3 号）
- 平成 19 年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）
- 平成 19 年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）
- 平成 19 年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 平成 19 年度遠野市浄化槽事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 平成 19 年度遠野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 平成 19 年度遠野市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 平成 19 年度遠野市水道事業会計補正予算（第 1 号）
- 平成 19 年度遠野市一般会計補正予算（第 4 号）
- 教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて  
佐々木るみ子氏
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて  
山本順一氏

## 市政の展開について



佐々木 讓 議員

【質問】 合併後の事務事業の調整状況は。

〔市長〕 148のまちづくり指標を設定し、18年度の達成状況は118指標、83%の概ね目標達成となり、市民協働のまちづくりが着実に推進された。事務事業の調整状況は、119事業中97事務事業の82%の調整を完了した。残り22事務事業についても、

平成21年度までに完了する予定になっている。

【質問】 介護保険料の調整の現状と今後の見通しについて。

〔市長〕 本年度は、介護保険サービス利用者等にアンケート調査を実施した上で、20年度に第4期介護保険事業計画策定委員会を設置し、21年度から統一した介護保険料を設定する予定である。

【質問】 旧市・村の職員給与の調整の進捗状況は。

〔市長〕 平成19年度から平成21年度までの3年間で是正する計画であり、これを確実に実行する。

【質問】 仮称「市民医療相談室」の設置について。

〔市長〕 健康福祉の里にある包括支援センターは幅広く相談に応じてくれる総合窓口である。とびあ内設置については、現在設置している「市民サービスコーナー」との整合性と、必要について研究してみる。

【質問】 綾織小学校の改築計画と中学校再編計画とは、切り離して取り組まなければならないと考えるが。

〔教育長〕 平成18年度に策定した遠野市総合計画前期基本計画で、平成21・22年度に改築工事を行い、平成23年4月から供用開始する計画としている。一方、現在進めている中学校再編計画により、今後綾織中学校は再編によって統合される可能性が高い見通しを持っている。時期が同じことから綾織中学校校舎を活用したいと考える。



▲熱い論議が交わされた「仮想・とおの市議会」

## 安心・安全な生活環境を



菊池 邦夫 議員

【質問】 少子化対策の基本原則である出産の環境づくりや安心してお産の出来る支援対策について、また医療機関への救急搬送体制の充実と促進策は。

〔市長〕 救急医療搬送体制と安心安全な出産環境づくりは表裏一体のものとして受けとめている。今後益々厳しくなる産科医の確保状況を見ると県

内の産科医療圏の広域化や集約化は避けられない。「遠野型助産院ネットワーク構想」を12月1日オープンに向け具現化に努めていく。

医療支援体制は広域で連携した活動が重要であり、情報を共有した中で幅広く連携体制を構築していく。

【質問】 遠野病院周辺地域の道路整備は市民からも要望があり市民生活を維持するため、そして遠野病院の充実の一環としてもぜひ整備を望むものだが。

〔市長〕 バイパスの開通によって周辺の宅地化が進み、水田の中に宅地が混在しその比率は年々高くなっている。

農地提供の理解を得ながら整備計画を検討したい。

【質問】 国や地方を通じて財政の危機的状況が指摘され「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が成立した。

民間会計では、ある年度の損益については損益計算書により把握する。事業活動の結果が資産や債務に及ぼす影響を与えるかを明らかにしているのが貸借対照表である。

当市の全体財務、公社や第三セクターを含めた連結ベースの場合はどうか。

〔市長〕 総務省は財務諸表改訂モデルを提示し、平成20年度会計から公表するよう求めている。改訂モデルや先進的取り組み事例を研修して、連結による試算を行いさらなる行財政改革により、財政健全化を図っていく。

【その他の質問】 市立中学校再編計画について



▲早期整備が望まれる遠野病院周辺道路

## 情報ビジネス校の今後について



浅沼 幸雄 議員

**【質問】** 県教委の発表では来年度から生徒の募集停止となるが、市として今後存続要望等の活動を行う予定があるのか。仮に行わない場合どのような活用策を図るのか。

情報ビジネス校は、昭和63年4月に県内の先陣をきって情報ビジネス科2学級を設置し、定員を上回る生徒が入学したと記憶している。

現在では県内はもとより津々浦々に情報ビジネス系の学校や学科が設置されているが、情報ビジネス校はその草分け的存在であると認識している。このような歴史を鑑みたときに市として伝統の継承や施設の利活用をぜひ検討すべきではないか。

少しとっぴな提案になるかもしれないが利活用について私の考えを述べてみると、遠野市立として或いは学校法人等を誘致してIT関係を専門に学習する全寮制の学校として全国から生徒を集めて再スタートし、卒業生は、これも市内に誘致したIT関連企業に就職するというものである。

**【市長】** 平成17年7月に示された県立高等学校新整備計画(後期計画)の中で、分校の取扱いについては、「入学者が募集定員の半数を下回る状況または当該分校に進学した者のうち分校所在地の中学校からの進学割合が半数以下が2年続いた場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合する。」とされている。情報ビジネス校の入学状況をみると、平成18年度の入学者は38名で、そのうち宮守中学校からの入学者は10名、平成19年度は入学者36名、宮守中学校からは13名で、地元中学校からの入学者が半数に満たない状況が2年続いた。宮守町民の思いは十分理解できるが、県教委の存続要件を満たせない状況下での存続要望は難しいと考える。今後は質問者の提案も含めて活用策を検討していく。



▲来年度から生徒募集を停止する遠野高校情報ビジネス校

## 宮守IC周辺を軸に企業誘致運動を



菊池 巳喜男 議員

**【質問】** 釜石道の宮守ICは西の玄関となる。高速道路の利便性を発揮させ周辺地域である綾織・鱒沢・小友地区等の雇用求心力を高め地域活性化につなげる事が急務と考えられるが、取り組み状況は。

**【市長】** 高速インフラ整備は企業誘致活動の追い風となる。IC周辺の環境を活かし誘致を一層進めたい。現在、

市内では工場増設2社、新規誘致2社、誘致内定2社、小友地区でも工場増設予定1社。誘致担当配置以来、約30名の雇用を新規確保でき工場の新設・増設が完成すると約160名の雇用が確保できる。

**【質問】** 携帯電話の不感地帯が数多くあり災害・事故等の緊急性に対応する携帯電話エリアの拡大が要望されるが、市内の不感地域の状況と解決策は。

**【市長】** 不感地帯は宮守・小友・附馬牛・土淵の比率が高く約700世帯と見込まれ、今年度は、ある携帯電話業者は8ヶ所の基地局設置等によりエリア拡大を進めている。

遠野テレビの光ファイバーの活用による基地局設置に向けた提案もし、結果として小友・附馬牛への基地局が設置された。今後も事業者積極的に設置要望を行い、不感地帯の解消を図りたい。

**【質問】** 少子高齢化の中、地域に若者が定住する環境づくりとして、各町に市営住宅建設や空き家等の改修工事を行い環境整備ができないか。

**【市長】** 現在は老朽化の著しい八幡住宅126戸を対象に建て替えを進めている。子育て世代や定住支援での民間住宅等の家賃助成の検討や住宅設置場所も通勤圏拡大を視野に入居者のライフプラン環境にも配慮したい。

**【その他の質問】** 中学校の不登校対策・再編について、小友地区より土室までの道路整備等。



▲工事が始まった宮守インターチェンジ

## 有機農業の可能性について



荒川 栄悦 議員

【質問】国では、有機農業推進法を成立させ、さらに有機農業推進基本方針を策定した。この中身は、1.有機農業推進の基本理念を定めた。2.この推進を国や自治体の責務とした。3.この推進は農業者や消費者との協働として進める。4.国や自治体は有機農業推進への基本方針や推進計画を策定する。この4

点が骨子である。こうした有機農法による付加価値の高い米を含む農産物生産は、必ずや農家所得の向上に寄与すると思う。そこで、有機農業を通しての環境保全型農業、遠野型農業を目指しての遠野市の農政の方向と、アストとしての取り組みは。

【市長】環境に配慮した有機農業の推進については自然環境の保全や食の安心安全を図るため、化学肥料や農薬等の使用を削減する事による、環境への負荷を可能な限り少なくした栽培方法への取り組みを行うこと、あるいは、耕畜連携による土作りの拡大など遠野市総合計画の中に規定しながら、取り組んでいる。また、米の栽培に関しては、取引先との販売対策も鑑みながら、農薬等の使用を極力軽減した「JAとおのこだわり米」の栽培拡大に取り組んでおり、その目標割合をチャレンジ100では3割としている。

目標以上の成果を得るため、JAと協力しながら今まで希望者だけの栽培としていたものを、全農家に取り組むよう計画している。またアストでは、耕畜連携推進の一環として、JA堆肥を利用した有機堆肥活用のための予算を今年度に計上しながら、普及サブセンターの協力を得て研究を開始している。さらに、有機栽培あるいは、こだわり農業に取り組む農業者が技術情報を得たり、情報交換の出来る場所、情報発信の出来る体制をアストの中に設置し、環境保全型農業の推進を図っていく。



▲収穫が進む農作業

## マタニティマークの活用は



石橋 達八 議員

【質問】災害時における遠野市と市内各事業所間等の防災協定・連携を拡充すべきと考えるがどうか。

【市長】現在、建設業協会、市医師会等と協定を結んでいる。今後とも各事業所の理解と協力を求め連携を一層深めたい。なお、消防団員が勤務する事業所の理解や自主防災組織結成が地域防災力の強化になる。

【質問】妊産婦が安心して暮らせる環境づくりの一つとしてマタニティマークを活用したグッズを配布する考えはないか。

【市長】妊産婦に対して周囲の配慮を促すことは、妊産婦にやさしい環境づくりに有意義である。遠野ならではのグッズの開発を検討しながら進める。

【質問】厚生省の調査で、虐待により死亡した子どもの4割が0歳児でその内約8割が4ヶ月以下であることが分かった。「生後4ヶ月までの全戸訪問事業(こんちは赤ちゃん事業)」「育児支援家庭訪問事業」の当市の実施状況は。

【市長】平成18年度の家計訪問の実績は95.8%になっている。育児不安がもっとも強い産後間もない時期に子育て支援をすることで虐待予防に努めている。本年度は100%を目標に取り組んでいる。「育児支援家庭訪問事業」では関係機関等からの情報収集により家庭相談員、保健師等による家庭訪問を実施し、状況把握に努めている。

【質問】学校再編成計画の基本的考えは。

【教育長】子ども達の未来を見据えた時、めざましい時代の変化、厳しい現実を逞しく乗り越え、しなやかさを備えた人間として育成していかなければならない。そのためには、多様な人間関係の中で切磋琢磨しながら個性を伸ばす環境を整えることが求められる。中学校再編は次代を担う人材育成のため避けて通れない重要課題だ。



▲災害時における岩手県高圧ガス保安協会遠野・花巻支部との応急対策業務協定調印式

## 綾織小学校改築について



織笠 孝之 議員

【質問】 市長施政方針演述で17年～19年で老朽化が著しい綾織小学校は改築に向けて、住民参加型の基本計画・設計に取り組むと再三表明している。単独改築から綾織中学校校舎を活用した改築案が3月末に急に出されたが、どの様な経緯で変わったのか。夢拓く綾織小学校を創る会等の意見を取り入れた住民参加

型の基本計画・設計はいつの時期に示すのか、その考えを伺いたい。

【市長】 綾織地区の子育て環境の整備も含めた「学びのプラットホーム」構想として、小学校校舎の保育所への転用等も構想した綾織小学校の改築案を「夢拓く綾織小学校を創る会」に示し説明した。中学校再編の結論を得て綾織小学校改築に取り掛かる方法もあるが、老朽化が激しく、子ども達のために早く校舎改築が必要だと考え、一日も早く教育環境を整えるため、小学校校舎の改築を前提に、まだまだ使える綾織中学校の体育館等を共用した5つの改築案を示しさらに検討をしながら、地域の理解と支援によって、本年度に予算化している綾織小学校改築の基本計画を進めたい。

【質問】 綾織地連協と綾織小学校を創る会役員合同会議で中併設校は我々が求めるものではないと決議され、地連協として市長に要望書を提出したいと政策企画室に問い合わせたら、市長の予定がいっぱいで受付が出来ない。予定がない時も受付が出来ないのか。「公平・公正・公開」と市民に言っているが、日程調整が出来なかった事について尋ねる。

【市長】 市長の予定表は公開している。在庁中は扉を開いて、事前の申込みがなくても、いつでも対応している。

正式な調整段階に至る前の、双方の認識の違いや勘違いがあったと思われる。



▲老朽化が進む綾織小学校

## 決算特別委員会 9月20日～25日

決算特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長菊池民彌議員、副委員長浅沼幸雄議員）は、決算10件の議案についての付託を受け3日間の審議を行いました。

特に、市税等収納対策、今後の財源の見通し、総合給食センター整備事業、介護保険サービス、遠野馬の里の経営改革、農業生産100億円達成アクションプラン、スクールバスの運行利用等に質疑が集中しました。

審議の結果、一般会計ほか9会計を原案のとおり認定しました。

# 宮守地域ケーブルテ

### スクールバスの利用 について

【質問】 宮守町では、スクールバスを児童生徒・園児が利用し効率的に運用しているが、それ以外の利用は可能か。

【答弁】 一般の方々の乗車はデマンドバス運行を予定しているところであり、今後の課題である。

【質問】 宮守町では、学区外利用でスポーツ関係等の活用をしている。旧遠野市での活用は。

【答弁】 小友・土淵にスクールバスがある。部活の遠征等に特別運行で活用している。今後は、中学校再編の問題と絡んで、調整検討していく。

【質問】 交通事故が発生した場合、文科省の許可がなければ保障の対象外となる。責任の所在は明確になっているか。

【答弁】 申請で文科省の許可は得ている。保険は児童生徒、園児に掛けてあり、責任は教育委員会になる。

### ケーブルTVエリア 拡大と災害情報対策は

【質問】 宮守地域へのケーブルテレビエリアの拡張事業は単年度で74%を越えているが、旧遠野市は64%と低迷している。今後、どう拡張を図るのか。

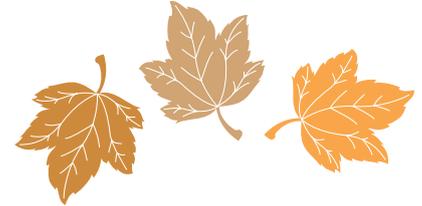
【答弁】 集合住宅や転入者への減免などを実施してさらなる拡張を図りたい。9月7日から物見山からデジタル波を試験発射しているが、総務省では遠野の場合、これまでのアナログ波の時よりも若干難視聴地域が増えると指摘しているのでその辺は十分考慮したい。

【質問】 10月から震度5以上の地震予知放送を実施することとなるが、遠野の場合ラジオの電波が届きにくい所が多い。解消策を検討するつもりはあるのか。

【答弁】 地震を含む災害発生時にはラジオも重要な情報源となるので、受信対策については今後検討していく必要があると考えている。



▲練習に励む子供たち



# レビ加入率74%超、情報の共有化進む

## 土地改良区の合併について

**【質問】** 土地改良区の合併について、当局ではどのように把握しているか。

**【答弁】** 県の指導で昨年秋から両改良区の理事による話し合いを始め、今春2回目の会合の席で、両改良区より5名ずつの検討委員を選出した。議会明けの10月から本格的に協議する予定である。

**【質問】** 合併までの見通しについてはどうか。

**【答弁】** 合併に係る国の補助は平成23年までとなっているが、両改良区の理事長間では平成22年の合併に向けて努力するという事で合意している。

**【質問】** 両改良区に対する市からの補助金は存続する予定なのか。

**【答弁】** 内容についての検討は必要であるが、続ける考えである。

## 地産地消の連携について

**【質問】** 遠野市の農業振興策の一つに、「先進的農業の推進に取り組み、農業の基本は土づくりであることを再認識し、耕畜連携による土づくりネットワークを有効活用しながら、エコファーマーの拡大を目指す。」とある。また、「遠野市食育総合センター構想の中にも、食材の地産地消を進め有機循環型の給食を提供する。」とある。アストの活動として今後どう取り組むのか。

**【答弁】** 食育を含め有機農業の良さも理解できるが、これからまだまだ検証しなければならない点も多い。

つまり、有機肥料の種類、適正投入量、タイミング、それに対する効果的な品目、さらに品質の均一化等の課題がある。減農薬・減化学肥料による米づくりには取り組んでいるが、これから、こつこつと積上げて行く予定である。

## 宮守わさびバイオ公社の運営について

**【質問】** 宮守わさびバイオテクノロジー公社の運営は、ほとんど補助金でまかなわれていると読み取れる。遠野市の特産物としてわさびは重要な位置づけであるのは理解しているが、今後売上げを上げる等の方策を講じて、補助金頼みの運営からの脱却が必要ではないか。

**【答弁】** 宮守わさびバイオテクノロジー公社に、設立当初から現在まで、わさび生産育成のための管理運営費の補助を実施してきたが、バイオ公社の理事会等でも補助金頼みの運営を見直し、今後はバイオテクノロジー技術の他分野への応用等も含めた経営の改革のため、来年度に向けて検討を重ねているところである。

## バレエスタジオの成果は

**【質問】** バレエスタジオの指導委託料、補助員委託料の内容は。

**【答弁】** 東京のバレエスタジオと他に補助員一人と委託契約している。

**【質問】** バレエスタジオが開設されて30年になるが、その成果は。

**【答弁】** 受講者の人数も安定し、増えている。子どもの健全育成や市民の舞台への参加など芸術性にも大きな効果がある。

**【質問】** この教室はプロを育てるためのものか。

**【答弁】** プロは何百人に一人という厳しいもので、さらに上の学校へ進む必要がある。

**【質問】** 公立ということで注目を浴びたが市の負担も大きい。民間での指導等はできないのか。

**【答弁】** 保護者も多額の負担をしている。このまま継続したい。

予算等審査特別委員会 9月26日～27日



▲活発な質疑が行われた委員会審議

予算等審査特別委員会（議長を除く 21 人の議員で構成、委員長佐々木讓議員、副委員長照井文雄議員）は、条例 6 件、予算 8 件、その他 1 件の 15 議案について付託を受けて 2 日間の審議を行いました。

なかでも、助産院設置に係る利用料の設定、デマンド交通、福祉計画、品目横断的経営安定対策、で・くらす遠野定住促進事業、宮守プロイハウスの運営、中心市街地活性化、防災対策、綾織小学校及び中学校再編成等に熱心な質疑が交わされ、全議案原案のとおり可決しました。

# 遠野型助産院12月1日スタート

## 助産院ネットワーク事業の内容は

**【質問】** この事業目的は。  
**【答弁】** 市内産科医師不足に対応して、モバイル（遠隔）健診、妊婦の不安解消、家族を含めた経済的負担軽減を図ることなどである。  
**【質問】** 県立釜石病院の医師が大船渡に統合されたことによる事業への影響は。  
**【答弁】** 県医療局が 8 月に医療圏の集約化構想を発表、県立大船渡病院に集約化された。しかし、毎日大船渡病院から医師が派遣され産科医療は 24 時間体制が確保されている。従って助産院事業のモバイル健診には全く影響はない。  
**【質問】** 少子化という現状を考慮し、もっと気軽に利用できる利用料金を設定できなかったのか。  
**【答弁】** 助産師も業としていく以上有料としたものである。月 20 人程度の利用を見込む中で県助産師会等の利用料を参考に設定した。

**【質問】** 第三子からの利用無料ということは。  
**【答弁】** 事業を進める中で検討することも考えられる。  
**【質問】** 休業日が土曜・日曜・祝祭日となっているが、緊急のときの対応を検討したのか。  
**【答弁】** 十分に検討の中に加えている。  
**【質問】** 将来的に勤務していいという医師があった場合を想定しているか。  
**【答弁】** 助産院を含めて勤務したいということであれば、喜んで医師を迎えたいし、そういう考え方を含めて取り組んでいる。  
**【質問】** 12 月開設に向けた周知はどうするのか。  
**【答弁】** 広報や遠野テレビ、また母子手帳交付や乳幼児健診のときなどに周知する。助産院の愛称を今度募集することとなるが、その際にも周知を図りたい。

## デマンド交通の導入について

**【質問】** 料金改定もあり、宮守地区説明会が必要では。  
**【答弁】** バスの利用形態が病院、買物である。チラシや掲示で周知を図る。  
**【質問】** 小友地区では知らない方もいるが。  
**【答弁】** 地区説明会を予定し、チラシを配布する。  
**【質問】** 地域で要望の取りまとめをしたか。  
**【答弁】** 実証試験であり、本格運行は反省を踏まえアンケート調査も実施する。  
**【質問】** どういう理由でデマンド交通が運行されることになったか。  
**【答弁】** 現路線バスは課題が多い、改善をどうするかバス・タクシー関係者や大学教授等の助言を基に研究会での議論から出した。  
**【質問】** もっと必要な地区があるのでは。  
**【答弁】** 3ヶ所目は年内に選定し、20 年度に運行開始。最終的には市内全体で検討したい。

## 民生委員の業務について

**【質問】** 現在の民生委員の任期は本年 11 月末までとなっており、各地区で後任の民生委員の推薦が行われた。後任選びに大分苦慮された地域もあると伺っているが、当局では原因をどのように分析し、その対策についてどう考えているか。  
**【答弁】** 今回の各地区からの推薦は、ほぼまとまったが約半数が入れ替わる状況である。  
 民生委員の制度が始まって 90 年目であるが、その当時と現在とでは時代背景も大分変わって来ている。それに伴い民生委員の業務も多種多様で広範囲に及んできており、行政区内を 1 人は担えない状況である。それらを踏まえて今回の地域福祉計画では民生委員の業務のあり方についても問い直し、さらに県や国へも実情を訴え改善を求めていく。

教育民生常任委員会行政視察報告



▲岩沼市直営で開所している「工房あすなる」を視察

品目横断対策について

**【質問】** 品目横断的経営安定対策において、面積要件として個人4ha、営農組織20ha以上となっているのが、高速横断道の用地として買い上げられた場合、面積要件として足りなくなる場合がある。その対策は。

**【答弁】** 個人の場合は、売った代金で農地を取得する方法がある。組織の場合は、新たな農家に加入をお願いすることになる。

**【質問】** 状況的に困難な場合などどうするか。

**【答弁】** 途中で基準面積が欠ける場合、県の指導を仰ぎながら進める。

**【質問】** 19の組織による協議会もスタートしたが、パソコン、ソフトなど経費が大幅にかかる。JAの支店を共同利用できないか。

**【答弁】** 経理のこともあり担い手センターと相談する。

災害時の防災無線放送について

**【質問】** 台風9号来襲時に遠野第2ダム放流についての防災行政無線放送が遅れた訳は。

**【答弁】** ダムは県の管理で、遠野土木センターから情報伝達依頼があった後の放送で遅れる形になった。

**【質問】** 宮守町には放送がなかったか。

**【答弁】** 放送は旧遠野市だけにした。また防災無線放送は、本部で周波数の違いはあるが同時放送できる。

**【質問】** 要請があって宮守の第9・10・11分団が自動警戒に当たったが、本部や宮守出張所との連絡は携帯電話を使用するよう指示があった様だが何故か。

**【答弁】** 無線はFM波であり電波の強弱で混線しやすいための対応だった。しかし、非常時にこそ無線は大事であり、今後は通信の複層を避けるため通信規定を周知徹底させる。

- 7月25、26、27日の3日間で行政視察を行った。
1. 秋田県美郷町の幼保一体型の認定こども園の見学  
子育て支援センターを建物の中央に配置し右側は保育園、左側は幼稚園の創りで、スクールバスを利用している。秋田県では1歳未満児に乳児養育支援金として月額1万円（所得制限なし）が支給されている。
  2. 山形県鶴岡市の給食センターの見学  
特区の活用で地産地消システム（7団体15名の生産者組織）が良く機能しており、1日1500食の処理能力で小中学校、保育所や児童館までが完全給食の体制であった。
  3. 宮城県岩沼市の精神保健福祉事業の実態  
事業推進の経緯について事前に7項目の質問状を送り、担当職員から精神障害者コミュニティサロン事業の実施状況や人口増による精神障害者の増加、対する法人や地域の無理解から就労が進まない悩みなど説明を受けた。

岩沼市は人口増に伴い医師も増加しているが、受け皿となる保育所、学校の不足など、当市と正反対の悩みであり羨ましい限りである。（照井文雄副委員長）

産業建設常任委員会行政視察報告

7月10～12日まで福島県昭和村と泉崎村、宮城県大崎市を視察した。昭和村の農業生産法人（有）グリーンファームは村内の農業従事者の高齢化・減少が著しい中であって、農地の遊休化対策と農業による所得向上を図るため平成11年に設立、農地の集積や受託作業に積極的に取り組み、集落営農による効率的で安定した経営を実践している。今年度からスタートした品目横断的経営安定対策についても受け皿が確立されておりスムーズに対応出来ていると理解した。泉崎村の（有）中野目畜産は養豚の一貫経営で黒豚の生産も含め独自の飼養管理技術を確認し安定経営を図るとともに、販売する店とレストラン部門を新設し消費者に顔の見える商品を提供している経営体である。大崎市の（有）デリシャス・ファームは施設園芸でデリシャスタマトを主体に生産販売する一方で、高付加価値化を目指し独自で加工品を開発し販売に取り組む等経営の多角化、安定化を目標とした企業意識の高い経営体である。（菊池充委員）



▲（有）デリシャス・ファームでのトマト栽培施設の視察

## 請願審査報告

今定例会には2件の請願が提出されました。  
教育民生常任委員会における審査及び本会議における議決結果は以下のとおりでした。

### ■国民医療を守るための請願

〔請願者 社団法人 遠野市医師会会長 新里 滋〕

《審議結果 採択》

### ■後期高齢者医療制度実施にあたっての請願

〔請願者 遠野母親連絡会会長 松崎 ふみ子〕

《審議結果 継続審査》

## 議員発議案

今定例会には、1件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。可決した意見書は以下のとおり。

### ■国民医療を守るための医療提供体制の再構築を求める意見書

【要旨】 崩壊の危機に瀕しているわが国の医療提供体制再構築を求める。

## 8月臨時会

平成19年第3回臨時会が8月22日に開催され、下記議案を原案のとおり可決しました。

- 遠野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 財産の取得について
- 平成19年度遠野市一般会計補正予算（第2号）

### 12月定例会の予定

- ◆定例会は12月7日(金)開会の予定です。詳しくは議会事務局まで。
- 議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。議会事務局 62-2111(内線271) gikai@city.tono.iwate.jp



## わたしの ひとこと

### おもしろく、熱く

坪井 大亮さん  
(附馬牛町)

私が遠野に帰ってきて三年が経ちました。帰って来て良かったこと、後悔したことどちらが多いかと聞かれると正直、後悔したことの方が多いと思います。多少、早く帰ってきたのかもしれませんが。

友達の言うとおりもう少し都会でがんばってみるのも手だったかもしれませんが将来、後悔したことが無くなっていて、遠くにいる友人たちに誇れる環境にすることができればと思います。そのためにもどうするかは考え中です。

生きるならばおもしろく生きたいですし、何か取り組めるものがあるのならば、仕事でも趣味でも熱くなって取り組みたいと思うこの頃です。

遠野もおもしろく熱いところであって欲しいと思います。

## 常任委員会等の活動

- 総務常任委員会（8月31日開催）
  - ・遠野馬の里の経営改革の現状について
  - ・地方振興局再編に伴う諸課題について
- 教育民生常任委員会（9月11日開催）
  - ・平成19年第4回定例会に係る健康福祉部所管事業について
- 議員全員協議会（8月31日開催）
  - ・遠野市助産院ネットワーク構想について
  - ・遠野市総合交通システム実証試験運行について
  - ・遠野市汚水処理基本計画について
  - ・総合食育センター施設用地の選定について
  - ・後期高齢者医療制度の実施について
  - ・かしわぎだいら交流施設の経営改革について

## 編集後記

新市が誕生して初の年間決算が上程され、また市総合計画前期基本計画がスタートした年度で政策の成果が数値で表され、計画と予算に沿って、政策が順調に遂行されていることが確認された。また、補正予算にあっては、19年度の目玉である遠野助産院ネットワーク構想に着手となり、出産における安心安全が確保されることとなる。この様に、今定例会は初物尽くしの中で重要課題に対する議論も大いに盛り上がり充実した議会となった。

結果、上程された全議案が全員賛成のもと可決された。「ドンドハレ」

(荒川 栄悦)